

# 災害ボランティア活動に学ぶ防災

～IVUSAの学生災害ボランティア活動から見てきたもの～

9月は防災月間です。台風や大雨といった自然災害は毎年被害があり、身近なところにも万が一の事態が起こる可能性は少なくありません。今回は、そのような災害被災地で復旧ボランティア活動を行っているIVUSA（東京多摩クラブ）の学生たちに活動を通して学んだことを伺いました。



写真は、床下のがれきの撤去や、土砂が詰まってしまった側溝から土砂を掻き出す作業などを行っている実際の様子です。

「自分の家なら、自分の大事な人の家なら」と、当事者意識を持ちながら現地の方の多様なニーズに応えていきます。

活動終了後のミーティングでは、翌日の活動計画を確認しながら活動の改良点を話し合います。

IVUSA 東京多摩クラブ  
大川柚奈さん（法政大学4年）



IVUSA  
「減災 Factory」  
より出題！

## 防災クイズにチャレンジ！

コロナ禍のため大学生のボランティア活動にも多くの制約が課せられています。IVUSAはオンラインでの活動により、防災・減災の知識をYouTube動画で提供する「減災 Factory」という活動をはじめました。皆さんも減災 Factoryのクイズにチャレンジしませんか？



### 【問題】

4人家族が災害に備えて持っておくべき飲料水の量は、次のうちどれでしょう？

- ① 500ml ペットボトル 36 本分
- ② 500ml ペットボトル 56 本分
- ③ 500ml ペットボトル 72 本分

※ 回答は次ページにあります

▲減災 factory の YouTube 動画より。視聴には右隣の QR コードをスマートフォンで読み取ってください。



NPO 法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) は 1993 年に設立された学生中心のボランティア団体で、全国をエリアごとに分けて 32 のクラブが活動していますが、今回はその中のひとつ、「東京多摩クラブ」の学生三人に、9 月 1 日「防災の日」にちなんで「災害救援」を軸にお話しを伺いました。



### 被災の可能性は誰にでも

IVUSA (イビューサ) の活動には「国際協力」「環境保護」「災害救援」「子どもの教育支援」「地域活性化」と 5 つの分野があります。「東京多摩クラブ」(所属 58 人) では災害救援にも多くの実績があり、同クラブ所属の法政大学の三人、竹内美佳子さん(2 年、写真左)、山本裕貴さん(3 年、写真中央)、大川柚奈さん(4 年、写真右)に、かれらのボランティア活動の実践と、そこから得たもの、感じたことなどをお話して頂きました。

竹内さんは「災害救援をやってみたい」と最初から狙いを絞り、SNS で情報を集め、幅広い活動を展開している IVUSA に入会を決めたそうです。ただ、このコロナ禍での大学入学だったので現場での活動はなかなか出来ていないとのことですが、街頭募金に参加し、積極的に歩行者に募金への協力を呼び掛けました。大川さんは高校の時にボランティア部に入っており、引き続き活動を進めるために、山本さんは先輩の勧誘に加え全国規模で活動している IVUSA に惹かれたと、入会の動機を語ってくれました。一昨年台風 19 号では南浅川上流が氾濫。大川さん、山本さんは民家の土砂をかき出す作業を手伝いました。土砂は土のう袋に入れて一輪車で所定の場所に運ぶのですが、「20 人が参加し、半日かかって駐車場の片隅がきれいになった程度」(山本さん)。「土砂をかき出した後は、床下に消毒剤を撒き、家財道具を運び出します」(大川さん)。作業は過酷で「熱中症になりそうだった」と二人とも声を揃えます。大川さんはその他、千葉、長野、岐阜、広島など、他県にも災害が起きると救援に駆けつけました。

IVUSA では実践活動とともに、勉強会や全国の仲間とのディスカッションを経て、多くの知見を蓄える機会に恵まれています。災害に備えるには何が必要かという問いに、三人が異口同音に挙げたのが「水」。水は一人当たり一日 2L~3L 必要とされています。山本さんも普段から 1 箱 12L 分の水を買置きしているとのこと。非常食も大事で、使ったら使った分だけ新しく買い足して常に一定量の食料を備蓄する「ローリングストック」を意識しています。また、竹内さんが万一の災害時に備えて心がけているのは「家族との連絡」。「音声メッセージでやり取りできる災害用伝言ダイヤル 171 を、毎月 1 日、15 日に設けられている体験利用提供日を活用して、実際、家族と“お試し”でやってみました」。

IVUSA で活動することで、皆、様々なことを学び、感じたようです。竹内さんは「オンラインで全国の仲間と縦と横に繋がって情報共有し、たくさんの知識を得られました。防災、減災のタイムラインづくりも行いました」。山本さんは「ハザードマップなど、自分の身近にあるリスクの事前確認が重要。たくさんの情報の中から何をどう選ぶか。高い意識を持つことが大事だと思います」。大川さんは「復興ってすごく時間がかかるということを実感しました。テレビはすぐに新しいニュースに更新されるけど、私たちは被災地の人たちに『忘れられているのが悲しい』『来てくれてうれしい』と言われます。人は自分の身に起きないとどうしてもヒトゴトになりがち。でも日本に住んでいる限り、誰でも被災する可能性はあるのです」。かれらの言葉はどれも重いと感じました。



## NPO 法人国際ボランティア学生協会 (IVUSA) 団体概要



- ・ 設立年：1993 年 1 月 (法人認証 2002 年 5 月)
- ・ 会員数：約 2500 人・会員所属大学数：84 校 (高校 1 含む)
- ・ クラブ数：32 (八王子市で活動実績のあるクラブは、東京多摩クラブ、東京八王子クラブ、東京日野クラブ) (※2021 年 3 月現在)
- ・ ホームページ：https://www.ivusa.com/
- 【写真】
- ・ 左：八王子駅前西放射線ユーロードで開催された地域合同学園祭「★学生天国★」で、よさこいを披露するメンバー。
- ・ 右：八王子いちょう祭りの学生団体コーナーへ出展。

アクティブ  
市民塾

9月26日(日)9:20~12:00  
浅川地下壕見学会 参加費：¥400

八王子には第二次世界大戦中に陸軍倉庫として掘られた巨大な地下壕があります。終戦間際には飛行機のエンジンを作る地下工場として使われていました。この貴重な戦争遺跡を、解説を聞きながら見学し、平和の大切さを実感します。

申し込みはホームページをご覧ください



平和への願いを込めて語り継ぐ 2021  
**浅川地下壕見学会**

9月26日(日)  
9:20~12:00

八王子には第二次世界大戦中に陸軍倉庫として掘られた巨大な地下壕があります。終戦間際には飛行機のエンジンを作る地下工場として使われていました。この貴重な戦争遺跡を、解説を聞きながら見学し、平和の大切さを実感します。

【開催内容】  
① 浅川地下壕の見学  
② 浅川地下壕の歴史を学ぶ  
③ 浅川地下壕の現状を学ぶ  
④ 浅川地下壕の未来を学ぶ

【参加費】  
大人 ¥400  
中学生 ¥200  
小学生 ¥100  
小学生未満 ¥50

【申し込み】  
申し込み期間：9月16日  
申し込み先：市民活動支援センター  
申し込み方法：ホームページから申し込み

【お問い合わせ】  
市民活動支援センター  
TEL: 042-646-1587  
FAX: 042-646-1587  
E-MAIL: info@hachioji-support.or.jp

パワーアップ  
講座

金曜日 14:00~16:30 全6回  
パワーアップ講座 参加費：¥1000~

市民活動団体がスキルアップできる連続講座です。活動目的を共有し、「組織」「会計資金」「情報発信」の視点から講義していただきます。全6回ですが、1回のみのお申し込みから受付けています。一団体から2人参加して頂けます。全6回で¥4000のお申し込みが大変お得です。ZOOMでも参加出来ますので、お気軽にお申し込みください。

申し込みはホームページをご覧ください



市民活動団体がスキルアップする連続講座です。 2021  
**パワーアップ講座 全6回**

活動目的を共有し、組織 会計資金 情報発信 の視点から強化します。

講座は全て金曜日14:00~16:30 / クリエイティブホール  
対面又はZOOM参加を選んでいただけます。

1	8/20	居心地の良い組織の作り方	組織 11F
2	9/17	活動の推進・課題解決	組織 10F
3	11/12	市民活動団体の会計	組織 10F
4	12/10	市民活動団体の資金調達	組織 10F
5	2/18	助成金申請書の書き方	組織 10F
6	3/4	広報と地域メディアの活用	組織 11F

受講料各回 ¥1000 (セット割引あり) 詳しくは講座へ

申込先：八王子市市民活動支援センター  
申込期間：2021年8月16日~9月15日  
申込方法：ホームページから申し込み



はちおうじNPOフェスティバル2021

2021. 10. 31(日) 11:00~15:30

開催の詳細は、10月中旬よりホームページで!

八王子の市民と市民活動団体がもっと身近になることを目的に、オンラインも活用したイベントを開催。多くの団体が動画で自己紹介したり、団体ならではのアトラクションも予定。

主催：八王子市市民活動支援センター

※新型コロナウイルス感染症感染拡大の状況により中止になる場合があります

お申し込みはFAXでも受け付けています。チラシの裏をご利用ください。FAX：042-646-1587



8月9日に開催された中高生によるグループディスカッション「八王子の未来」では中高生の目線で八王子の現状と未来、良い所と課題について話し合い、各グループで提言を発表しました。この時のディスカッションパネルを支援センターフリースペースに展示しています。ぜひご覧になってください。これから私たちも若者の居場所や活動の機会を提供していきたいと思っています。





八王子市市民活動支援センター  
 〒042-646-1577 Fax 042-646-1587  
 〒192-0083 八王子市旭町1-2番1号ファルマビル5階  
 npo802@shiencenter-hachioji.org

https://www.shiencenter-hachioji.org/  
 八王子市市民活動支援センター 広報課  
 http://hachikomigenki365.net/

開館時間 10時～21時 日・祝は17時まで  
 休館日 月曜日 祝日の場合は翌火曜日  
 指定管理者 特定非営利活動法人八王子市市民活動協議会



イベント	日時	会場	内容	主催	申込先	備考
2021年 八王子・日野の 野鳥写真展 (Web開催)	8/1 ～9/30 24h	Web開催 	八王子・日野カ ワセミ会創立35 周年記念事業の 一環として開催	八王子・日野 カワセミ会 	不要	どなたでも お気軽に お立ち寄り くだ さい

助成金情報

詳細は、八王子市市民活動支援センターにお問合せいただくか、はちコミねっとのサイトをご覧ください

名称	主催	助成対象	助成金額	締切
NPO基盤強化資金助成 「認定NPO法人取得資金」	公益財団法人 SOMPO 福祉財団	社会福祉分野で活動し、認 定NPO法人の取得を計画し ている特定非営利活動法人	1団体30万円 (総額450万円を予定) 	10/8(金)
読売福祉文化賞	読売 光と愛の事業団 読売新聞社	新しい時代にふさわしい福 祉活動に取り組んでいる団体 など 	一般部門3件 (トロフィーと活動 支援金各100万円) 高齢者福祉部門3件 (トロフィーと活動 支援金各100万円)	9/30 (木) 消印有効
2022年度 重い病気を抱える子どもの 学び支援活動助成	公益財団法人 ベネッセ子ども 基金	重い病気を抱える子どもの学 びを支援する活動 	助成金額 1000万円程度	9/24(金) 必着

はちコミねっとからのお知らせ

新型コロナウイルス感染症に関して、市民活動団体への助成や団体の支援活動などをまとめました。  
 支援したい、または、支援が必要だという団体さんは情報をお寄せください。

<https://bit.ly/3nX4XZs>



八王子コミュニティ活動応援サイト  
「はちコミねっと」



<http://hachikomi.genki365.net/>  
 ※右のQRコードからもアクセスできます。



SUPPORT802  
 バックナンバーはこちらから

